

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通調査事業等)

平成27年1月 19日

協議会名:寒河江市地域公共交通会議

①事業の結果概要	②事業実施の適切性	③生活交通ネットワーク計画又は地域公共交通再編実施計画等の計画策定に向けた方針
<p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域公共交通の現況調査 ・路線バス利用実態調査 ・住民アンケート調査 ・住民との意見交換会 ・課題の整理による地域交通の検討 <p>【結果概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎的データの整理を行い人口分布と通勤・通学の状況や公共機関や医療機関等の施設立地状況を整理した。 ・路線バス利用実態調査により、実際に路線バスを利用している住民の利用目的や頻度、利便性の聞き取り調査を行い、路線バス利用者目線での課題を把握。 ・住民アンケートにより、日常の移動状況や交通手段、公共交通の利用状況を調査し、住民が求める生活交通のあり方等について広く課題を把握。 ・住民との意見交換会を行い、特に高齢者など交通弱者の生の意見を聞くことで、地域に必要とされる生活交通についての課題を把握。 ・今後の協議会の検討を経て、生活交通ネットワーク計画として最終的にとりまとめる。 	<p>A</p> <p>計画に位置づけられた調査事業が適切に実施されている。</p>	<p>これまで本市では、バス停から500m以上離れた地域を公共交通空白地域としてデマンドタクシーを導入するなどして、生活交通の利便性向上をはかってきたが、今回の調査事業により次の課題を把握することが出来た。公共交通空白地域以外の準公共交通空白地帯(バス停から300m離れた集落等。)を定義するなどし、新たに交通サービスの展開を図っていきたい。またバス停から300m以上離れた医療機関等の施設が多いことから、これらを利用する際の利便性向上を図るための方策を検討したい。これらを合わせ少子高齢化など人口構造の変化に対応できる持続可能な生活交通の確立に向けた計画を策定していく。</p>